

巻 頭 言

第 57 回日本呼吸器学会学術講演会に寄せて

The Holding Greeting for The 57th Annual Meeting of Japanese Respiratory Society

会長挨拶 中西洋一

President: Yoichi Nakanishi

第 57 回日本呼吸器学会学術講演会の会長を務めさせていただくに際し、学術講演会のご紹介をするとともに、現在の呼吸器疾患についての所感を述べたいと思います。

我が国は世界に類をみない長寿国です。健康保険制度の完備、医療の質と量の充実、国民の健康への関心の高さ、これらの礎となる経済の繁栄のたまものでしょう。一方で、医学の発展にも一定の限界があります。平均寿命の延長もそろそろ頭打ちとなった現在、我が国は「多死時代」と呼ばれる段階に達しました。なかでも呼吸器疾患による死亡が急増しています。平成 27 年の人口動態調査によると、国民総死亡数は 129 万人、そのうち、肺炎・気管支炎 121,400 人、肺癌 74,400 人、COPD 15,800 人、インフルエンザ 2,300 人、呼吸器結核 1,700 人、喘息 1,500 人が亡くなりました。呼吸器系の疾患として登録されている死亡と肺癌死亡を合計すると 28 万人余り。つまり、国民の 2 割以上が呼吸器疾患で命を落としていることとなります。今世紀は呼吸器の時代といっても過言ではありません。私達呼吸器疾患を専門とする者にとって責任は重大です。

そのような背景の下、本学術講演会のテーマは「Clean Air & Clean Science」といたしました。大気汚染に代表される環境問題は重要な課題が山積しています。我が国においては、PM2.5 や震災で表出した粉塵被害などの問題があります。また、家庭のバイオマス燃料や受動喫煙を含む喫煙問題も世界中で問題視されており、現在、この領域に科学のメスを入れる動きが

注目されています。「Clean Air」は、米国胸部疾患学会や欧州呼吸器学会も呼吸器疾患制圧のための最重要課題の一つとして採り上げているように、まさに私達の学問領域の新しい潮流となっています。そこで、本学術講演会においても、環境問題をテーマにシンポジウムを組みました。脱タバコの次に来るべきこの課題は、より広い視野、社会や海外との連携なしには大きな成果が期待できないものでもあります。我々の将来の研究の在り方を考える上でも重要なテーマと考えています。

「Clean Science」は、相次ぐ医学研究の不正を受けて作成した造語です。本学会はこの言葉をキーワードとして適正な学術活動・研究活動を応援したいと考え、サイエンスの充実、up to date な教育プログラムの企画、国際セッションの拡充を目指しました。若い研究者には是非とも国際的視野に立っての活躍、海外研究者との活発な交流を期待しています。国際セッションに関しては ATS, ERS, APSR との連携の下に、それぞれの学術部会と協力して、international session, inter-assembly session を多数準備しました。特別講演は、浅野浩一郎先生に「真菌と気道アレルギー」、菊地利明先生に「ゲノム医学からみた肺感染症」、桑野和善先生に「肺線維症の病態と治療標的」、高山浩一先生に「肺癌治療の新たな展開と課題」、西岡安彦先生に「特発性肺線維症：橋渡し研究の意義と展望」、迎寛先生に「新しい肺炎ガイドラインを中心に」というテーマでご講演いただく予定です。

また、学会の在り方も時代とともに変遷しつつあると感じています。これまでわれわれが目指してきたものは正確な診断と有効な治療、そして疾病の予防でした。今直面しているのはそれだけではなく、終末期医

療や医療とケアのバランス, 医療コスト・医療経済への配慮など, これまでの医学の殻に閉じこもってはいは解決できない課題です. 加えて, 医療安全や医療倫理, 研究倫理, 利益相反, 新指針や法律への対応, ひいては男女共同参画や patient advocacy など, 広い視野をもって呼吸器疾患と対峙する必要に迫られています.

会長企画として, 招請講演に「医療経済」, また基調講演として「学問の神様」を取り上げました. 厚生労働省で我が国の医療行政の中核で活躍された, 国際医療福祉大学大学院の和田 勝教授に医療経済に関する講演をいただきます. 高額医薬品で注目を集めた医療経済に関しては, 私達医学研究者, 臨床医もしっかり

と対峙していく時期になったと感じています. また, 前進, 発展するためには, ひたすら前を向くだけでなく, 歴史を紐解く作業も必要になると思っています. 我が国の学問の神様とされている菅原道真公の直系の子孫である西高辻家の当主であり, 道真公を祀る天満宮 12,000 社の総本宮と称えられる太宰府天満宮の第 39 代宮司の西高辻信良様にもご講演をいただく予定です.

是非, 本学術集会で多くの学会員の皆さまと活発な議論を交わすことができれば幸いです.

なお, 一般の方に向けた市民公開講座を, 公益財団法人日本呼吸器財団との共催で予定しております. 皆様のご参加をお待ち申し上げます.